

V 北海道水産業・漁村振興推進計画の目標と現状等

(北海道水産業・漁村振興推進計画の目標と現状等)

本道周辺海域における主要魚種の漁業生産の減少、台風等によるホタテガイ漁場や養殖施設の被害、漁業就業者の減少や漁船の老朽化に伴う生産力の低下などにより、近年の漁業生産は減少傾向にあり、すう勢としての令和9年の予測値は107万トン程度と考えられます。

このため、北海道水産業・漁村振興推進計画（第4期）では、資源管理や栽培漁業の推進、漁業経営体の収益性の向上や安全で良質な水産物の安全供給などの施策を総合的かつ計画的に推進することにより、令和9年の漁業生産目標を126万トンに設定しています。

令和2年の漁業生産は122万トンと前年に比べて約6%増加したものの、サケやコンブ、スルメイカの不振などにより目標を下回っています（表Ⅱ-5-1～表Ⅱ-5-4）。

表Ⅱ-5-1 漁業生産の目標と現状

(万トン)

区分		平成25年	令和元年	令和2年	令和9年		備考
					すう勢	目標	
海面漁業 ・ 養殖業	魚類	64	61	66	46	60	サケ、スケトウダラ等
	水産動物	12	5	4	8	9	ミスダコ、スルメイカ等
	貝類	47	41	44	46	46	ホタテガイ、ホッキガイ等
	海藻類	8	7	7	6	10	マコンブ、ナガコンブ等
	計	131	114	121	106	125	
内水面		1	1	1	1	1	
総計		132	115	122	107	126	

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報」

注：海藻類、ウニ（水産動物）、カキ（貝類）は生体重量に換算

表Ⅱ-5-2 魚種別生産の目標と現状

(万トン（ヒラメ以下は百トン）)

魚種	平成25年	令和元年	令和2年	令和9年	
				すう勢	目標
スケトウダラ	21	14	15	16	16
マガレイ・ソウハチ	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9
ホッケ	5.2	3.3	3.9	0.2	1.7
サケ(秋サケ)	13	5	5	9	15
ホタテガイ	45	39	42	44	45
コンブ(生体重量)	8	6	6	6	10
ヒラメ	8.9	10.1	8.8	9.5	9.6
マツカワ	1.7	1.4	1.2	1.8	1.8
ニシン(日本海海域)	26	26	45	19	26
ウニ(殻付き)	47	44	39	45	49
ナマコ	23	19	18	21	24

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、北海道連合海区漁業調整委員会

注：コンブ、ウニは生体重量に換算

表Ⅱ－5－3 漁業就業者数

区分	単位	平成25年	令和元年	令和2年	令和9年	
					すう勢	目標
経営体数	千経営体	12.9	10.6	10.2	8.4	8.8
就業者数	千人	29.7	25.1	23.4	21.8	22.8
(新規就業者数)	人	(216)	(171)	(156)	(229)	(260)

資料：農林水産省「漁業センサス」、農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報」、水産林務部調べ

表Ⅱ－5－4 漁業・水産加工生産額

(億円)

区分		平成25年	令和元年	令和2年	令和9年	
					すう勢	目標
漁業 生産額	海面	2,900	2,388	2,027	2,647	3,156
	内水面	19	13	12	20	22
	計	2,949	2,401	2,039	2,667	3,178
水産加工生産額		6,470	6,414	未公表	6,365	6,617

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、北海道総合政策部「工業統計調査」、道総研さけます・内水面水産試験場調べ
令和2年「水産加工生産額」は令和4年5月現在で未公表。